

共済の今日と未来を考える兵庫懇話会

— 結成6周年第7回総会講演会のご案内 —

<講演テーマ>

『TPPと共済規制』

— なぜアメリカは日本の保険・共済を狙うのか —

<講師> ジャーナリスト **東谷 暁 氏**

日時: **6月27日(木)午後6時~**

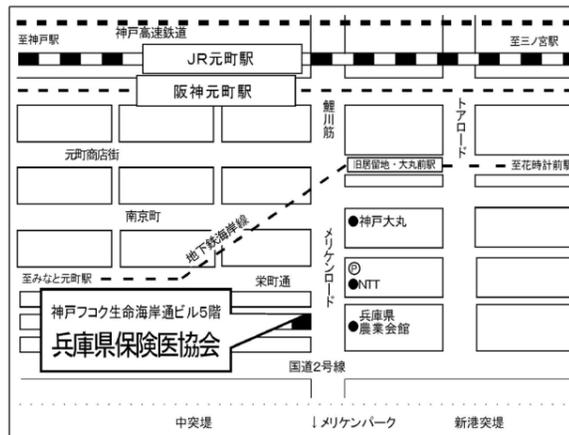
※午後6時30分まで懇話会総会議事を予定しています。

会場: **保険医協会会議室**

神戸市中央区海岸通1-2-31 神戸フコク生命海岸通ビル5階

☎ 078-393-1805 (神戸大丸南へ徒歩3分)

日本はいまTPP交渉が始まる前から、保険サービス市場の開放を米国政府に強く求められ妥協を余儀なくされている。なぜ、米国はそこまで日本の保険・共済市場にこだわるのかといえば、実はTPPを強く推進しているのは、政治力が強い全米サービス業連合会(CSI)などの米保険業圧力団体が控えているからだ。TPPの本当の狙いと米保険業界の野望を分析し、これから予想される日本政府の対応と日本の保険・共済の将来を考える。(東谷記)



呼びかけ団体: 兵庫県知的障害者施設利用者互助会・兵庫県勤労者山岳連盟・兵庫県民主医療機関連合会・兵庫県保険医協会・兵庫県商工団体連合会・兵庫県労働組合総連合・兵庫県労働共済会・全教兵庫教職員共済会

(切り取らずに送信ください)

【FAX返信】(参加申込) 078-393-1802 宛

兵庫県保険医協会共済部 行

●6月27日(木)「自主共済懇話会講演会」に、
出席します 約 () 人

※資料準備の都合上、おおよその参加人数をお知らせください。

団体名、または、お住まいの地区名

お名前

兵庫県保険医協会

尼崎支部ニュース

344号

2013年5月25日付

〒660-0055 尼崎市稲葉元町2-11-10 八木クリニック内
兵庫県保険医協会尼崎支部 TEL06-6417-6600 FAX06-6417-6011

在宅医療点数研究会

活発な意見交換で理解深まる

尼崎支部は4月20日、市立中小企業センターで在宅医療点数研究会を開催し、会員・医療スタッフら30人が参加した。

綿谷茂樹副支部長が講師を担当し、テキスト「在宅医療点数の手引き2012年度改定版」を用いて在宅医療における点数算定のポイントを解説。往診と訪問診療の違いなどの基本から、訪問診療料等の「同一建物居住者」や「同一患家」の複雑な取り扱い、在宅で処置を行う場合に注意が必要な「在宅寝たきり患者処置指導管理料」と「在宅時医学総合管理料」との関係まで丁寧に触れた。



綿谷副支部長が講師を担当した

参加者からは、「在宅患者訪問診療料」のターミナルケア加算の算定要件や「在宅がん医療総合診療料」における訪問看護ステーションとの費用分配などに関する質問が出されるなど意見交換が行われた。

支部会員の先生方へ

未入会のお知り合いの先生、ご子弟に入会を是非おすすめください

保険医協会は県下で7,000人以上の医師・歯科医師が入会し、開業医が安心して診療に打ち込めるよう支えあう、開業医自身がつくる団体です。医学の進歩と医療技術の向上、変化する医療制度への対応、怪我や病気など万が一の時の備えなど、開業医の診療、経営、生活を全面的にサポートします。勤務医の先生も県下で1,200人を超える先生方にご利用いただいております。

協会未入会のお知り合いの先生、ご子弟に是非、入会をおすすめください。



「サポート力」
いちばん身近に
いちばん親身に

